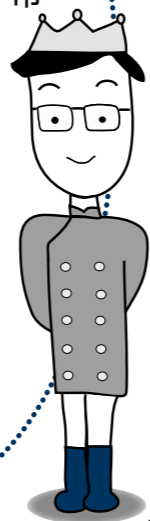




特集

行革王子の
行革ってなあに？

第8次津山市
行財政改革実行計画（平成18年度～平成21年
度）の「平成19年度改訂版」をまとめました。
なぜ、行財政改革（行革）が必要なのか、
これからどう取り組んでいくのか。
私、行革王子がご説明します！



行革王子★

なぜ行革が必要？

国と地方の税財政改革（三位一体改革）や不況などの影響を受け、津山市を取り巻く財政状況は、一層厳しいものとなっています。サービス水準を維持向上させながら、この苦難を乗り切るためには、効果的・効率的な行政経営への転換に向け、抜本的な改革が必要です。
第8次津山市行財政改革では、目標値を設定して、徹底した進捗管理を行い、実施結果を毎年度公表します。実行計画も毎年度見直すこととしています。

平成18年度の実施結果

- 平成18年度効果額：約13.4億円
（当初目標額 約8億円）
- 達成率：167%
- 取り組み項目数：120項目
- 市税収納額：130.1億円（平成17年度127.1億円）
- 市税収納率：91.1%（平成17年度89.6%）
- 職員数：968人（平成17年度991人）
- 財政指標
経常収支比率：96.6%（平成17年度90.4%）
実質公債費比率：20.0%（平成17年度18.1%）

効果額が目標を上回った
主な要因

- ①職員数削減・給与の見直し効果
（5億1,400万円）
- ②事業見直し・経費の削減効果
（3億900万円）
- ③収入増の取り組み効果
（5億1,500万円）
など

※この2つの指標は、地方交付税や補助金など国からの収入の減少、公共下水道などに使用される経費の計算方法が変更されたことなどにより、大幅に上昇しました

【経常収支比率】 財政の弾力性（ゆとり）を見るための指標。値が低いほど、状況の変化に柔軟に対応できる。県下15市の平均値は92.4%

【実質公債費比率】 財政の健全性を見るための指標。値が18%以上の市町村は、地方債を発行するためには県知事の許可を得る必要がある。県下15市の平均値は20.1%

目標額を上回って達成できています。しかし、三位一体改革による地方交付税など国からの収入削減や避けることのできない大型事業の着手など、将来的に財政状況はさらに厳しさを増してまいります。



★行革王子：第8次津山市行財政改革のキャラクター。「しあわせ天国・つやま」実現のために、「まじめにきっちりやる」ことをイメージして、当時活躍していたハンカチ王子にもあやかうと、職員が考えました

ごんごバスにゆられて



出会いとふれあいの場



バス停から南に歩いて橋を渡ってすぐにある宮川河川敷が「作州津山宮川朝市」の会場です。
朝市は人と人とのふれあい・出会いの場となることを目的に平成8年10月にスタート。今年で11年目を迎えました。毎月第2日曜日の午前7時から10時まで、農家や周辺の商店経営者のテントなど約30張が並び、季節の野菜や卵、陶芸品、魚介類などさまざまな品が販売されています。毎回の

千人の人出でにぎわい、昔ながらの「顔の見える市」を通して交流を育んでいます。
また、開催日前の会場周辺のほり旗立てや、会場内のテント設置などは、実行委員会の役員や会場近くの町内会有志の手によって行われています。
恒例行事として、12月は餅つき、2月には宮川プリ市が催されています。
年末の朝市は、12月23日（祝）に開催し、お飾りなどの



問い合わせ先 農業振興課
☎32・2079

正月用品も販売。また、餅つきも行われます。

作州津山宮川朝市（山北）



●特集
行革王子の
行革ってなあに？ 3

○市政だより 6
まちプロニュース
年金の源泉徴収票
年末年始の休業
ほか

- 【まちかど写真館】 12
総合防災訓練 ほか
- 【ごんごクラブ】 14
未来をひっばる津山人
わたしのおすすめ
- 【けいじばん】 17
- 【くらし】 22
- 【津山城百聞録】 24
～万人講の木駒～